

令和7年度鹿児島県災害時小児・周産期医療研修会実施要領

1 目的

災害時における小児・周産期医療体制を強化するため、小児・周産期医療関係者等の災害医療に対する知識の向上及び「災害時小児周産期リエゾン」の役割等の周知を図る。

2 日時

令和7年10月10日（金）18：00～20：00

3 場所

鹿児島県医師会館4階大ホール（鹿児島市中央町8-1）

4 開催方法

対面及びWeb併用のハイブリッド形式

5 対象者

小児・周産期医療関係者、災害医療関係者、行政関係者 など

6 内容及び講師等

時間		内容	講師等
18:00～18:05	(5)	開会	県保健福祉部子ども政策局子育て支援課
18:05～18:30	(25)	① 災害医療の概要とわが国の災害医療体制	社会医療法人緑泉会米盛病院 副院長 富岡 譲二 先生 (県災害医療コーディネーター)
18:35～19:05	(30)	② 災害時小児周産期リエゾンの概要と近年の活動	あいち小児保健医療総合センター 小児救命救急センター 副センター長 伊藤 友弥 先生
19:10～19:40	(30)	③ 小児・周産期施設に求められるBCP（事業継続計画）について ～フェーズ・フリーの考え方～	高知医療センター 産科科長 渡邊 理史 先生
19:45～19:55	(10)	④ 本県の災害時小児周産期リエゾンの活動概要	済生会川内病院 小児科部長 塩川 直宏 先生 (鹿児島県災害時小児周産期リエゾン)